京城新報

明治四十三年紀元二千五百七十年 本紙 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲一年前金三圓六十錢 定價 ▲五號活字十七字詰一行一回金廣告料金 一行金七十五錢 ▲一行金七十五錢 ▲二號活字十七字詰一行一回金廣告料金

大聲蓄音器●葉卷埃及莨●洋酒類新荷着 獨米雜貨洋酒食料品 洋煙草類金銀國美術品 直輸入商 ㊟品特約販賣所 京城本町二丁目 辻屋 本店電話二四八 支店電話三六六

京城新報

振はざる長官會議

各部長官は陛下の統監の補佐は合議制であつたか、將た獨裁制であつたか、官制に依つて見れば獨裁制の如くであつた、各參與官は政務官で無くして事務官の如くであつた、併し官制に無い參與官會議なるものが置かれて政務を討究し、統監の諮問に應じ、他各自の管掌せる事務に關する問題を提出附議し、決議を以て統監に稟申し、其の決裁を經て之れを實施すること恰も我維新後の參議の會議の如きものであつた、當時參議は、這は一面に於て政務の機密漏洩の虞れありと雖とも、統監政治の上に有害なることを論じた、同時に他面に於て各員をして最善の努力を爲さしめ且つ政務及事務の統一を計るの利益有るを認めざるを得ぬのであつた。

併合の結果統監府は廢され總督府が置かれた、其の官制に依て總督の下に各部長官が任命され、長官會議が開かるること成つた、此の會議は外觀恰も前の參與官會議の如きものであるが、而かも其の內容の果して參與官會議と同樣なるや否を知らぬ、或は單純なる總督の諮問機關であるか、又は各員が案を立てゝ之れを附議するを得るか、其はサテ措き、近者長官會議の甚だ振はざるを聞く、尤も參與官會議と雖も寺內將軍着任の後は全く自動的ならず彼動的に意見を陳述するに過ぎずとの噂もあつたが、今次半島統治機關の變更されたるに因て置かれたる長官會議は更に一層甚しきものありと傳へらるるのである、余輩は各部官長が政務に就て、其の會議に於て十分に意見を主張し得るの權能を附與されたるや否やを知らぬ、去りながら既に會議が開かれ、問題が提出され、之れを討議するに當り、例へば度支部の所管の問題に對して農商工部長官が意見を陳べ、他た農商工部の問題に就て司法部長官が意見を述べ得る以上は、少くも或意味に於て內閣會議の性質を帶びたるものである、然者總理大臣とも見るべき總督が問題を提出したならば各員は各自の所信を忌憚無く發表して爾るべきでは無いか、總督は固より之れを希望するであらう、然るに何事ぞ頃者長官會議に宛然陛の會合の如く、總督提出の問題に對して別論各部長官の提案に就ても殆んど是非の見を吐くものの無しと聞く、如斯者長官會議は有名無實と申すべく、其の何の爲めに開かるるやを知るに苦しむのである。

余輩の聞く處にして誤無くんば、き內務軍は極めて宏量なる人で、政務と云はず事務と云はず、其の採否は別として何人の進言にも悅んで耳を藉すことの如き、去れば近來の長官會議に對しては慨ふに物足らず感するであらう、固より尋常なる官吏氣質よりすれば、長官に對しては一向に從順に絡絡如として維命維從ふを以て多くの場合、地位の安全を期し得べけんも、苟も其職に在りて其の責を盡さゞるは卑屈である、不忠實である、總督と雖とも神ならざる限りは萬能なる能はず、萬能なるべきに對しては一層甚しきものありと傳へらるるのである、余輩は各部官長が政務に就て、其の會議に於て十分に意見を主張し得るの權能を附與されたるや否やを知らぬ、去りながら既に會議が開かれ、問題が提出され、之れを討議するに當り、例へば度支部の所管の問題に對して農商工部長官が意見を陳べ、他た農商工部の問題に就て司法部長官が意見を述べ得る以上は、少くも或意味に於て內閣會議の性質を帶びたるものである、然者總理大臣とも見るべき總督が問題を提出したならば各員は各自の所信を忌憚無く發表して爾るべきでは無いか、總督は固より之れを希望するであらう、然るに何事ぞ頃者長官會議に宛然陛の會合の如く、總督提出の問題に對して別論各部長官の提案に就ても殆んど是非の見を吐くものの無しと聞く、如斯者長官會議は有名無實と申すべく、其の何の爲めに開かるるやを知るに苦しむのである。

余輩の聞く處にして誤無くんば、き內務軍は極めて宏量なる人で、政務と云はず事務と云はず、其の採否は別として何人の進言にも悅んで耳を藉すことの如き、去れば近來の長官會議に對しては慨ふに物足らず感するであらう、固より尋常なる官吏氣質よりすれば、長官に對しては一向に從順に絡絡如として維命維從ふを以て多くの場合、地位の安全を期し得べけんも、苟も其職に在りて其の責を盡さゞるは卑屈である、不忠實である、總督と雖とも神ならざる限りは萬能なる能はず、萬能なるべきに對しては一層甚しきものありと傳へらるるのである、余輩は各部官長が政務に就て、其の會議に於て十分に意見を主張し得るの權能を附與されたるや否やを知らぬ、去りながら既に會議が開かれ、問題が提出され、之れを討議するに當り、例へば度支部の所管の問題に對して農商工部長官が意見を陳べ、他た農商工部の問題に就て司法部長官が意見を述べ得る以上は、少くも或意味に於て內閣會議の性質を帶びたるものである、然者總理大臣とも見るべき總督が問題を提出したならば各員は各自の所信を忌憚無く發表して爾るべきでは無いか、總督は固より之れを希望するであらう、然るに何事ぞ頃者長官會議に宛然陛の會合の如く、總督提出の問題に對して別論各部長官の提案に就ても殆んど是非の見を吐くものの無しと聞く、如斯者長官會議は有名無實と申すべく、其の何の爲めに開かるるやを知るに苦しむのである。

東京電報

▲**進水式**行幸下檢分 來る十五日横須賀軍港に於て擧行の戰艦艦河內進水式當日には天皇陛下行幸あらせらるべきに付き日根野侍從森書記官は昨日下檢分の爲同地に至る（同上）

▲**東宮殿下の還啓** 皇太子殿下にて本日御遺啓遊ばされたり（葡萄）

▲**宣言書と我政府** 牙假政府よりの宣言書は去る七日我國に通牒到着せしが我政府は未だ承認を與へず（同上）

▲**勸業債券の募集** 今十二日より募集せらるゝ勸業債券は小口の申込高五萬餘圓と豫約的に申込めるは日本赤十字社の數十萬圓並に某會社の數十萬圓等大口の外各地方よりの申込は枚擧に遑あらざる盛況にて此の分にては總切迫にて數倍に達すべし（同上）

▲**小村外相の辭職說** 關稅改正問題に付き小村外相の對英策は盡く英國朝野の反感を招き加藤駐英大使をも意見の衝突を來し遂に益々不良に陷り且つ近來健康勝れざる爲め辭意あり更迭說盛に傳へらる（十一日）

▲**免官抗議提出** 行政裁判所評定官免官となり被免許定官は首相に抗議書を提出せり（同上）

▲**新橋露都間連絡** 來る四十四年一月一日より新橋露都間の運絡輸送を開始すべし（同上）

▲**日英兩國不承認** 英國は葡國新政府を承認せず聚明す我政府は英國と同一の態度に出づべし其他へ近々授爵の御沙汰あるならんと傳へらる

▲**造船總監の罷免** 海軍艦政本部出仕造艦監督海軍造船總監近藤基樹氏は本職を免せらる（同上）

▲**第一旬輸出超過** 本月第一旬間に於ける外國貿易輸出超過額は四百三十萬五千圓なり（同上）

▲**日蓮宗活動準備** 日蓮宗に於ても朝鮮の宗教界に大活動せんとて目下布教の方法並に經費支出の點に付き協議中なり（同上）

▲**宮家々令の更迭** 北白川宮附家令麻生三郎氏は病氣の爲め辭任し式部官山邊知春氏就任せり（同上）

▲**我討伐隊の困苦** 陸軍省着電に依れば宜蘭方面の討伐隊は天候不良の爲め困苦甚しく且つ道路橋梁等は破壞せられ物資は一カバン方面に輸送しつゝあり狀態にして新竹の鐵條網は未だ連結せず併し衛生狀態は一般に良好なり（同上）

伯林電報

▲**兩皇帝會見の地** 露帝及び獨逸皇帝の會見はホッツダムに於て行はるべしと（十二日）

▲**伯林大學の百年祭** 伯林大學の百年祭には全獨逸及び墺太利大學代表者參列すべし（同上）

▲**露國飛行家墜落** 露國の空中飛行家アイウィッチ氏は飛行機より墜落して近去せり（同上）

海藻

▲**李王家の職制內容** 此程來圖書寮に於て編纂中なりし王家の職制は愈々來る十七八日頃發表せらるゝ由なるが同職制によれば宮內省の所管にして王家の職員其他は委任により朝鮮總督是れを監督す筈なるが王家の經費豫算編成等は勿論宮內省に於て是を爲す筈なりと云ふ

▲**寺內總督の招宴** 寺內總督は十二日午後七時より總督官邸に左記諸氏を招待晩餐會を開きたり大久保軍司令官、山縣政務總監、李完用伯、朴齊純、高永喜、趙重應、閔丙奇、武の各子爵、金允植、尹德榮、趙民熙、李秉李容植、金允中、李根澤、石塚、荒井、本內、有吉、宇佐美の各部長官、宇佐川東拓總裁、石井少將、俵副總裁、韓昌洙、趙義淵、金善熙、張錫周の各男爵、國分局長、小松局長、兒玉秘書官、外波大佐、前間通譯官、十時副官、藤波通譯官等

▲**元次官の授爵說** 韓國政府時代の各部の次官として功勞ありたる向へ近々男爵を授けらるべしと說あり、尙朝鮮人側に於ては今回授爵洩れとなりたる、故金玉均氏の遺子關に於て市民有志會合の上通水式に關する相談會を開く筈なりと

貴族婦人觀光

朝鮮貴族婦人連は日本內地の文物習風を兼て京城日報社長大岡力氏の送別宴を張りたるが來會者百餘名頗る盛宴に亦た賑を盡し一散會せるは九時過なりき

●**大岡氏の送別會** 京城記者團は前京城日報社長たりし大岡力氏の爲めに十三日午後六時よりソンタクホテルに於て送別宴を催す筈なりと云ふ

●**水原憲兵隊移轉** 水原憲兵隊本部は近日中京城に移轉することゝなり現在の內部にその本部を置く筈なれど內部の移轉期日は未定なれば一時他の廳舍を充用することとなるべしと云ふ

俞氏の爵記返上

新に男爵を授けられたる俞吉濬氏は十一日寺內總督まで一書を致し爵記返上の奏聞を請願に及びたる由なり

●**追加豫算の調了期** 特別會計歲出其他豫算外支出に屬するも種々の計劃に其他事務繁雜の爲め切りに各部の豫算を糾合しつゝあるも其の選び出に至り目下度支部に於ては以て遲くとも本月中には決定發表の豫定なりと尙は明四十四年度に於ける豫算も目下各部とも編成終了して度支部に一覽めとされつゝあればその決定を見るは十月二十日頃ならんと云ふ

●**各地暴徒處分結果** 其の筋にて調査に係る本月一月より八月に至る朝鮮各地暴徒處分結果を聞く各裁判所に於て暴徒として受理せる人員は二千二百十八人なるが內訳有罪として絞刑の宣告を受けたるもの六十名同懲役終身十八名同十五年以下四十名同十年以下二百九十名同五年以下百三十九名同三年以下三百六十一名其の他十五名外十一名は無罪不起訴千三百七十三名なりと

●**憲兵管轄區域に付** 昨紙東電に見ゆる如く、今回朝鮮憲兵隊管轄區域を定められしが這は從來改文なきを新たに成文として發布されたるまでにて同管轄區は以前よりも右の如き區域に於て取締るものなれば今回の發布に付き毫も變更を見ずと云ふ

●**總督送別會見合乎** 總督は日本人商業會議所にては市民有志と計りて寺內總督の送別宴を張る筈なりしが觀光團歡迎送の爲め忙殺され且つ總督の出發も間近となりたるを以て右送別會は見合せとなるべしと云ふ

●**仁川通水式相談會** 仁川水道通水式も愈々來る二十三日と決定し目下設備餘興等夫れ〳〵準備中なるが來る十五日午後二時より仁川民團に於て市民有志會合の上通水式に關する相談會を開く筈なりと

●**花月樓の迎送宴** 十一日午後四時より花月樓に於て新任京城府尹の歡迎會を兼て京城日報社長大岡力氏の送別宴を張りたるが來會者百餘名頗る盛宴に亦た賑を盡し一散會せるは九時過なりき

●**大岡氏の送別會** 京城記者團は前京城日報社長たりし大岡力氏の爲めに十三日午後六時よりソンタクホテルに於て送別宴を催す筈なりと云ふ

●**水原憲兵隊移轉** 水原憲兵隊本部は近日中京城に移轉することゝなり現在の內部にその本部を置く筈なれど內部の移轉期日は未定なれば一時他の廳舍を充用することとなるべしと云ふ

値下社告

本紙儀去四十年十一月創設以來幾度か厄難に罹り候も幸にして無事茲に滿三ケ年を經過し以て今日に至り候こと偏に江湖愛讀者諸君の御同情と先輩の同業者にして廢刊する者の致候に就いては此際遠近の結果と深謝の至りに不堪候而るに近來紙價騰貴の責任を全くせんが爲め弘く擴張の意味を以て本紙の値下げを斷行し從來一箇月分三十五錢なりしを左の通りに改訂仕候

一月分 金三十錢

但し支局費捌所等より配達の分も同樣の通り勉强仕候に付ては此際遠近の一行は馬山港に於て始めて朝鮮人學校を視察し朝鮮に於ける教育機關は豫想外に完備し居たるに感じ一行より標本費として金數十圓を寄附したりと

●**仁川扭覗乘降客** 十一日の仁川驛乘客は百二十九名降客百十名にして扭覗乘客は百四十八名降客は二百五十名

●**民團決算委員會** 京城民團にては十二日も前日に引續き決算委員會開會

●**松本教授の逝去** 官立漢城師範學校教授松本宗治氏は去九日夜十一時逝せり行年三十二、氏は烏取の人にして明治三十八年東京高等師範學校理科を卒業し次いで廣島師範學校教諭となり四十一年四月前記教授を奉職せり葬儀は十一日午後二時日蓮寺に於て執行せしが日鮮教育家生徒五百餘名の會葬、日中外國語學校長及び增戶師範學師範生徒總代の祭文等ありたり

平南線の發着時間

鐵道局に於ては十月十六日より平壤鎭南浦間運輸營業を開始し但し一般旅客荷物の取扱を爲すべし但分一等車を連結せや發着時間左の如し

平壤發	午前	午後
鎭南浦發	七時三〇分	五時〇〇分
鎭南浦着	七時五六分	五時二六分
平壤發	八時二四分	五時五四分
平壤着	八時一七分	六時一七分
鎭南浦發	九時一〇分	六時四〇分
鎭南浦着	午前一〇分	午後六時四〇分
平壤發	十時三〇分	七時三〇分
鎭南浦發	十時二五分	七時五五分
鎭南浦着	十時二二分	七時二二分
平壤着	十一時一六分	八時四七分
平壤發	十一時四〇分	九時一〇分

安奉線時間短縮

鴨綠江面約四十八哩の廣軌列車開通式を擧行すると同時に安奉間の時間改正を實施する赴きなるが此結果安東縣奉天間の旅車時間に若干の短縮を見るべきは勿論にして尙は明年一月より石橋子本溪湖間廣軌開通と共に奉天、安東縣間に急行列車を運轉し現今草河口に於ての一泊を廢して全部を一日に到着すべく更に時間を改正する筈なりと尤も其際と雖も現時の奉天石橋子間の廣軌は本溪湖まで延長されたるものなれば本溪湖にて從來の輕便線に乘換へ更に鴨綠江山にて再び廣軌に移り安東縣に到るべき始末なりと

寺內總督の巡視

（水原勸業模範場）

寺內總督は十二日午前八時五分南大門發列車にて隨員數名と共に水原に赴き國立農業模範場其他を視察し午後歸京せり

●**平南道收穫豫想高** 平南道內務部にて調査したる所によれば本年道內各郡の米及雜穀收穫豫想は左の如し 甑山郡が特に減收見込なるは霜害のために外米收穫豫想高

郡名	米	雜穀
府郡	一二、一〇四	一九、一六四
平壤	二四、三六八	一五、三一、一〇二
中和	二、七、七三三	四、一六、五九九
成川	二四、七五四	一八、七、一五三
肅川	二、七八一	二、一七四
江東	一、六〇一	一、六四一
順安	二、一二〇	二、三二〇
安州	三、〇三四	四四三
江西	五七、四八二	二、一二〇
龍岡	二、六〇三	三、〇三四
大同	四、五、八一二	二、六〇三
鎭南浦	一、一四	四、五、八一二
孟山	二、二三六	二、七五二
順安	二、二三六	二、九九六

●**觀察團員の客附** 別項朝鮮視察團の一行は馬山港に於て始めて朝鮮人學校を視察し朝鮮に於ける教育機關は豫想外に完備し居たるに感じ一行より標本費として金數十圓を寄附したりと

●**仁川扭覗乘降客** 十一日の仁川驛乘客は百二十九名降客百十名にして扭覗乘客は百四十八名降客は二百五十名

●**民團決算委員會** 京城民團にては十二日も前日に引續き決算委員會開會

●**松本教授の逝去** 官立漢城師範學校教授松本宗治氏は去九日夜十一時逝せり行年三十二、氏は烏取の人にして明治三十八年東京高等師範學校理科を卒業し次いで廣島師範學校教諭となり

●**觀察團員の客附** 別項朝鮮視察團の一行は馬山港に於て始めて朝鮮人學校を視察し朝鮮に於ける教育機關は豫想外に完備し居たるに感じ一行より標本費として金數十圓を寄附したりと

●**仁川扭覗乘降客** 十一日の仁川驛乘客は百二十九名降客百十名にして扭覗乘客は百四十八名降客は二百五十名

●**民團決算委員會** 京城民團にては十二日も前日に引續き決算委員會開會

●**木杯下賜** 左の諸氏は水原小學校補助費の內へ金員寄附したる爲め去月九日附統監府より木杯を下賜せらる

中野與吉 鹽川一太郎 坂手重三郎 貫錦貞一 本田辛介 豐永眞里 鳥居龍藏 古賀三郎 津久喜 近藤虎之助

德川	六一〇	四七、一一二	迫角次郎 宮原忠正 向坂鐵三郎
事業	一五六石	三四、九七二	飯田章 岸秀次 杉本太一郎 奧園
合計	二七二、七六八	七二、八、二〇五	悅次郎 眞野景象 庄司政太 守屋

●**鴨農家一行の消息** 本月第一旬間に於ける外國貿易輸出超過額は四百三十萬五千圓なり（同上）

●**京都商業生徒來仁** 京都市立商業學校生徒四十七名は見學の爲め四名の數論に引率せられて十二日午前九時四十分着にて釜山より來仁したるが午後より市中を觀覽し一泊の上十三日午後六時十分發に入京の筈

●**京都實業學校生徒** 京都實業學校生徒五十名は十二日午前八時二十分着にて入京せり

●**石塚長官北方巡視** 石塚取調局長官は總督の歸任後北朝鮮の方面を巡視すべしと

●**神原軍司令部參謀長の出張** 神原軍司令部參謀長は守備隊巡視の爲め十三日開城へ出張され同日歸任の由

●**小倉主計監の出張** 小倉主計監は十一日南大門發夜行列車にて大邱へ向け出張したり

●**新任軍醫部長着任** 軍司令部附軍醫部長大西龜太郎氏は家族同行十三日午後八時五分着任の筈

●**小原男爵の歸京** 朝鮮貴族授爵の爲め入京せる宗秩寮主事小原銓吉男の一行は十一日午後十時四十分南大門發列車にて歸京の途に就かれたり

●**關野博士の出發** 滯京中なりし關野工學博士は十二日午前九時南大門驛發の列車にて歸京せられたり

●**三浦書記官來期** 公使館一等書記官に轉任せし前京城理事官三浦彌五郎氏は十七日頃來京出發來京すべし

●**小林深田の兩氏** 前京城財務監督局長小林重氏及び前農商工部書記官深田千太郎氏は十一日午後十時四十分南大門發列車にて歸鄉の途に就きたり

●**德富蘇峰氏歸東** 國民新聞社長傳富猪一郎氏は來る十四日午前南大門發列車にて歸東する筈

●**吉松視務官赴任** 全州視務官に新任されたる吉松憲郎氏は十二日午前九時南大門驛發列車にて赴任の途に着く

●**高雄通譯官着任** 京城府通譯官に高雄謙三氏は十二日夜着任

●**仁川水道通水式** 愈々來る二十三日と決定し目下設備餘興等夫れ〳〵準備中なるが來る十五日午後二時より仁川民團に於て市民有志會合の上通水式に關する相談會を開く筈なりと

●**總督送別會見合乎** 總督は日本人商業會議所にては市民有志と計りて寺內總督の送別宴を張る筈なりしが觀光團歡迎送の爲め忙殺され且つ總督の出發も間近となりたるを以て右送別會は見合せとなるべしと云ふ

●**仁川通水式相談會** 仁川水道通水式も愈々來る二十三日と決定し目下設備餘興等夫れ〳〵準備中なるが來る十五日午後二時より仁川民團に於て市民有志會合の上通水式に關する相談會を開く筈なりと

●**木杯下賜** 左の諸氏は水原小學校補助費の內へ金員寄附したる爲め去月九日附統監府より木杯を下賜せらる

中野與吉 鹽川一太郎 坂手重三郎 貫錦貞一 本田辛介 豐永眞里 鳥居龍藏 古賀三郎 津久喜 近藤虎之助

公人私人

德川	六一〇	四七、一一二	迫角次郎 宮原忠正 向坂鐵三郎
事業	一五六石	三四、九七二	飯田章 岸秀次 杉本太一郎 奧園
合計	二七二、七六八	七二、八、二〇五	悅次郎 眞野景象 庄司政太 守屋

●**鴨農家一行の消息** 本月第一旬間に於ける外國貿易輸出超過額は四百三十萬五千圓なり（同上）

●**日蓮宗活動準備** 日蓮宗に於ても朝鮮の宗教界に大活動せんとて目下布教の方法並に經費支出の點に付き協議中なり（同上）

●**宮家々令の更迭** 北白川宮附家令麻生三郎氏は病氣の爲め辭任し式部官山邊知春氏就任せり（同上）

●**我討伐隊の困苦** 陸軍省着電に依れば宜蘭方面の討伐隊は天候不良の爲め困苦甚しく且つ道路橋梁等は破壞せられ物資は一カバン方面に輸送しつゝあり狀態にして新竹の鐵條網は未だ連結せず併し衛生狀態は一般に良好なり（同上）

伯林電報

▲**兩皇帝會見の地** 露帝及び獨逸皇帝の會見はホッツダムに於て行はるべしと（十二日）

▲**伯林大學の百年祭** 伯林大學の百年祭には全獨逸及び墺太利大學代表者參列すべし（同上）

▲**露國飛行家墜落** 露國の空中飛行家アイウィッチ氏は飛行機より墜落して近去せり（同上）

海藻

▲**李王家の職制內容** 此程來圖書寮に於て編纂中なりし王家の職制は愈々來る十七八日頃發表せらるゝ由なるが同職制によれば宮內省の所管にして王家の職員其他は委任により朝鮮總督是れを監督す筈なるが王家の經費豫算編成等は勿論宮內省に於て是を爲す筈なりと云ふ

▲**寺內總督の巡視** （水原勸業模範場）

寺內總督は十二日午前八時五分南大門發列車にて隨員數名と共に水原に赴き國立農業模範場其他を視察し午後歸京せり

●**平南道收穫豫想高** 平南道內務部にて調査したる所によれば本年道內各郡の米及雜穀收穫豫想は左の如し 甑山郡が特に減收見込なるは霜害のために外米收穫豫想高

郡名	米	雜穀
府郡	一二、一〇四	一九、一六四
平壤	二四、三六八	一五、三一、一〇二
中和	二、七、七三三	四、一六、五九九
成川	二四、七五四	一八、七、一五三
肅川	二四、七八一	二、一七四
江東	一、六〇一	一、六四一
順安	二、一二〇	二、三二〇
安州	三、〇三四	四四三
江西	五七、四八二	二、一二〇
龍岡	二、六〇三	三、〇三四
大同	四、五、八一二	二、六〇三
鎭南浦	一、一四	四、五、八一二
孟山	二、二三六	二、七五二
順安	二、二三六	二、九九六

韓國振替口座八七

月	金	高	枚數
九	四、二四七、三七	五九六	

▲**京城手形交換高**▼

▲**京城新報**儀去四十年十一月創設以來幾度か厄難に罹り候も幸にして無事茲に滿三ケ年を經過し以て今日に至り候こと偏に江湖愛讀者諸君の御同情と先輩の同業者にして廢刊する者の致候に就いては此際遠近の結果と深謝の至りに不堪候而るに近來紙價騰貴の責任を全くせんが爲め弘く擴張の意味を以て本紙の値下げを斷行し從來一箇月分三十五錢なりしを左の通りに改訂仕候

一月分 金三十錢

但し支局費捌所等より配達の分も同樣の通り勉强仕候に付ては此際遠近の一行は馬山港に於て始めて朝鮮人學校を視察し朝鮮に於ける教育機關は豫想外に完備し居たるに感じ一行より標本費として金數十圓を寄附したりと

●**仁川扭覗乘降客** 十一日の仁川驛乘客は百二十九名降客百十名にして扭覗乘客は百四十八名降客は二百五十名

●**民團決算委員會** 京城民團にては十二日も前日に引續き決算委員會開會

●**松本教授の逝去** 官立漢城師範學校教授松本宗治氏は去九日夜十一時逝せり行年三十二、氏は烏取の人にして明治三十八年東京高等師範學校理科を卒業し次いで廣島師範學校教諭となり

●**觀察團員の客附** 別項朝鮮視察團の一行は馬山港に於て始めて朝鮮人學校を視察し朝鮮に於ける教育機關は豫想外に完備し居たるに感じ一行より標本費として金數十圓を寄附したりと

●**仁川扭覗乘降客** 十一日の仁川驛乘客は百二十九名降客百十名にして扭覗乘客は百四十八名降客は二百五十名

●**民團決算委員會** 京城民團にては十二日も前日に引續き決算委員會開會

●**木杯下賜** 左の諸氏は水原小學校補助費の內へ金員寄附したる爲め去月九日附統監府より木杯を下賜せらる

中野與吉 鹽川一太郎 坂手重三郎 貫錦貞一 本田辛介 豐永眞里 鳥居龍藏 古賀三郎 津久喜 近藤虎之助

公人私人

德川	六一〇	四七、一一二	迫角次郎 宮原忠正 向坂鐵三郎
事業	一五六石	三四、九七二	飯田章 岸秀次 杉本太一郎 奧園
合計	二七二、七六八	七二、八、二〇五	悅次郎 眞野景象 庄司政太 守屋

●**鴨農家一行の消息** 本月第一旬間に於ける外國貿易輸出超過額は四百三十萬五千圓なり（同上）

●**日蓮宗活動準備** 日蓮宗に於ても朝鮮の宗教界に大活動せんとて目下布教の方法並に經費支出の點に付き協議中なり（同上）

●**宮家々令の更迭** 北白川宮附家令麻生三郎氏は病氣の爲め辭任し式部官山邊知春氏就任せり（同上）

●**我討伐隊の困苦** 陸軍省着電に依れば宜蘭方面の討伐隊は天候不良の爲め困苦甚しく且つ道路橋梁等は破壞せられ物資は一カバン方面に輸送しつゝあり狀態にして新竹の鐵條網は未だ連結せず併し衛生狀態は一般に良好なり（同上）

俞氏の爵記返上

新に男爵を授けられたる俞吉濬氏は十一日寺內總督まで一書を致し爵記返上の奏聞を請願に及びたる由なり

●**追加豫算の調了期** 特別會計歲出其他豫算外支出に屬するも種々の計劃に其他事務繁雜の爲め切りに各部の豫算を糾合しつゝあるも其の選び出に至り目下度支部に於ては以て遲くとも本月中には決定發表の豫定なりと尙は明四十四年度に於ける豫算も目下各部とも編成終了して度支部に一覽めとされつゝあればその決定を見るは十月二十日頃ならんと云ふ

●**各地暴徒處分結果** 其の筋にて調査に係る本月一月より八月に至る朝鮮各地暴徒處分結果を聞く各裁判所に於て暴徒として受理せる人員は二千二百十八人なるが內訳有罪として絞刑の宣告を受けたるもの六十名同懲役終身十八名同十五年以下四十名同十年以下二百九十名同五年以下百三十九名同三年以下三百六十一名其の他十五名外十一名は無罪不起訴千三百七十三名なりと

●**憲兵管轄區域に付** 昨紙東電に見ゆる如く、今回朝鮮憲兵隊管轄區域を定められしが這は從來改文なきを新たに成文として發布されたるまでにて同管轄區は以前よりも右の如き區域に於て取締るものなれば今回の發布に付き毫も變更を見ずと云ふ

●**總督送別會見合乎** 總督は日本人商業會議所にては市民有志と計りて寺內總督の送別宴を張る筈なりしが觀光團歡迎送の爲め忙殺され且つ總督の出發も間近となりたるを以て右送別會は見合せとなるべしと云ふ

●**仁川通水式相談會** 仁川水道通水式も愈々來る二十三日と決定し目下設備餘興等夫れ〳〵準備中なるが來る十五日午後二時より仁川民團に於て市民有志會合の上通水式に關する相談會を開く筈なりと

●**花月樓の迎送宴** 十一日午後四時より花月樓に於て新任京城府尹の歡迎會を兼て京城日報社長大岡力氏の送別宴を張りたるが來會者百餘名頗る盛宴に亦た賑を盡し一散會せるは九時過なりき

●**大岡氏の送別會** 京城記者團は前京城日報社長たりし大岡力氏の爲めに十三日午後六時よりソンタクホテルに於て送別宴を催す筈なりと云ふ

●**水原憲兵隊移轉** 水原憲兵隊本部は近日中京城に移轉することゝなり現在の內部にその本部を置く筈なれど內部の移轉期日は未定なれば一時他の廳舍を充用することとなるべしと云ふ

俞氏の爵記返上

新に男爵を授けられたる俞吉濬氏は十一日寺內總督まで一書を致し爵記返上の奏聞を請願に及びたる由なり

●**追加豫算の調了期** 特別會計歲出其他豫算外支出に屬するも種々の計劃に其他事務繁雜の爲め切りに各部の豫算を糾合しつゝあるも其の選び出に至り目下度支部に於ては以て遲くとも本月中には決定發表の豫定なりと尙は明四十四年度に於ける豫算も目下各部とも編成終了して度支部に一覽めとされつゝあればその決定を見るは十月二十日頃ならんと云ふ

●**各地暴徒處分結果** 其の筋にて調査に係る本月一月より八月に至る朝鮮各地暴徒處分結果を聞く各裁判所に於て暴徒として受理せる人員は二千二百十八人なるが內訳有罪として絞刑の宣告を受けたるもの六十名同懲役終身十八名同十五年以下四十名同十年以下二百九十名同五年以下百三十九名同三年以下三百六十一名其の他十五名外十一名は無罪不起訴千三百七十三名なりと

●**憲兵管轄區域に付** 昨紙東電に見ゆる如く、今回朝鮮憲兵隊管轄區域を定められしが這は從來改文なきを新たに成文として發布されたるまでにて同管轄區は以前よりも右の如き區域に於て取締るものなれば今回の發布に付き毫も變更を見ずと云ふ

●**總督送別會見合乎** 總督は日本人商業會議所にては市民有志と計りて寺內總督の送別宴を張る筈なりしが觀光團歡迎送の爲め忙殺され且つ總督の出發も間近となりたるを以て右送別會は見合せとなるべしと云ふ

●**仁川通水式相談會** 仁川水道通水式も愈々來る二十三日と決定し目下設備餘興等夫れ〳〵準備中なるが來る十五日午後二時より仁川民團に於て市民有志會合の上通水式に關する相談會を開く筈なりと

沿外法欄

▲**南大門驛乘降客** 十一日の分如左 乘車客 七三〇 下車客 八一四、乘車貸金 一七七九、下車貸金 一一四四

▲**南大門荷物扱高** 十一日の分如左 發送 四八屯 到着 二二四屯 發送貸金 六六〇、五三

▲**龍山驛の乘降客** 十一日の分如左 乘車客 三一八 下車客 二一八 乘車貸金 三一九、九六

▲**龍山驛荷物扱高** 十一日の分如左 發送 一〇六屯 到着 一一七屯 發送貸金 二二七、七六

▲**京城手形交換高** 十二日 月 金 高 枚數 九四、二四七、三七 五九六

▲**京城龍山驛の貨客**▼

▲**南大門驛乘降客** 十一日の分如左 乘車客 七三〇 下車客 八一四、乘車貸金 一七七九、下車貸金 一一四四

▲**南大門荷物扱高** 十一日の分如左 發送 四八屯 到着 二二四屯 發送貸金 六六〇、五三

▲**龍山驛の乘降客** 十一日の分如左 乘車客 三一八 下車客 二一八 乘車貸金 三一九、九六

▲**龍山驛荷物扱高** 十一日の分如左 發送 一〇六屯 到着 一一七屯 發送貸金 二二七、七六

▲**鹽坂長吉（光濟乘組技師）**十一日入京 ▲**淺岡次郎（同上）**同上 ▲**前川益次（工學士）**同日浦尾投宿 ▲**副島八十六**十一日新義州へ向ふ

▲**京城手形交換高**▼

▲**京城龍山驛の貨客**▼

▲**南大門驛乘降客** 十一日の分如左 乘車客 七三〇 下車客 八一四、乘車貸金 一七七九、下車貸金 一一四四

▲**南大門荷物扱高** 十一日の分如左 發送 四八屯 到着 二二四屯 發送貸金 六六〇、五三

▲**龍山驛の乘降客** 十一日の分如左 乘車客 三一八 下車客 二一八 乘車貸金 三一九、九六

▲**龍山驛荷物扱高** 十一日の分如左 發送 一〇六屯 到着 一一七屯 發送貸金 二二七、七六

諸看板製作　油絵肖像畫●朝子金文字入ペンキ塗工事大勉強請負　永樂町二丁目　赤門通り　椹野工舎

朝鮮王家の幸福

▽布哇土人の韓國併合觀

ジョン、エフ、ボルパン氏と云ふは布哇の老偉人米布合併前は布哇王族の忠臣にて、大臣の椅子にも競きたる布哇土人中知名の人なるがこの頃我が大日本天皇陛下に一頭の名馬を獻せんとの赤心を帝國總領事に通じて御嘉納の御沙汰を待ちゐる由今同地新聞に記載せる其談話に據れば「曩に米布合併に先だち浪速艦を率ゐて來れる東郷大將なり當時余は氏に踏りて布哇の急を救はんとせば今一艘の軍艦を派遣せられたしといへり氏はこれを諾したるも布哇は遂に今日の如く亡びたりこれを思ふ毎に予は東郷大將を想はぬ日とはなしがゆゑに近時韓國併合の飛報を聞きぬ米布合併の當時を想起して一時は異樣の感に打たれたりしもその併合條約文を見てより予は日本の御聖德の厚きに感泣したりき陛下は韓國を併合すると共に常盤樓に前借金三百圓にて稼業中も何と子と名乘りて稼業中も何とかして前借を踏み倒さんと企てしも自分一人にて處束なしと同所取締事務所河口某の堺過にいまし玉ふや慨慨の念に堪へず韓國皇族に對して禮遇さるにても朝鮮王室は幸福なる哉予は日本天皇陛下を世界一の英傑として榮拜する念一日も去らず陛下に對し子の微意を申表さんがため名馬を獻じ奉らんとの考へを起しぬ今予の所有する牧場より選拔したる名馬は布哇一といふも過賞にあらず齢未だ二歳に達せざれど黑毛の駿足にして性質從順なり依つてホノルゝ駐在の帝國總領事上野專一氏に向ひ日本外務省にまで予の微意を通ぜられたしと願ひ出でたるは八月下旬のことなり萬一御嘉納あらば死して尙餘榮あり」云々

毒婦奥村さめ

▽樓主踏み倒し

料理飲食店等の樓主連が奸策を弄して酌婦をもを虐げたることは屢々筆誅する所なり加ふるに警察官署の取締り嚴重となりし爲め多くは故僞なるが一方酌婦仲居等は樓主連の非行を許かるしや其の機に乘じて無報酬を結托して主人が苛酷なりとか何んとかを云ひ立てに足抜きするやら前借踏倒し專門料理飲食店等の樓主連が奸策を弄して酌婦をもを虐げたることは屢々筆誅する所なり加ふるに警察官署の取締り嚴重となりし爲め多くは故僞なるが一方酌婦仲居等は樓主連の非行を許かるしや其の機に乘じて無報酬を結托して主人が苛酷なりとか何んとかを云ひ立てに足抜きするやら前借踏倒しも元來自分から好んでする酌婦仲間なれば一筋縄で行く奴の多きは當然の事ながら此れは又蒸ても燒いても食はぬ海千山千の莫連女あり先頃岡縣企救郡足立村にて奥村辰造の二女さめ（廿）と云ふは性質での淫奔女として屬揚げの取れぬ内から男狂ひに憂身を窶し或る小料理店に酌婦として住み込みたるがあらぬ道に踏み迷ふ緒端なりけり好んで成つた稼業なれば少時の間に男の眞毛を算むに飽を得て實父の方へも多少の送金をなす程になりしより益に實父も慾が付き遂に小倉遊廓に娼妓として賣り飛ばしたるさらぬだに既に浮かれ男を手玉に取りし經驗もあれば間もなく此所にて某請負業者を丸め込み身請けされて共に朝鮮に押し渡り一時仁川に同棲せしが根が多情者のれさめと一人寄りは守つて居られず離れ彼れと浮名を唄はれしことも度々なるに石の男も愛想を盡かし水原の戚の料理店に賣飛ばされしも決して自分が惡いと思はず結局此の方が氣樂なと相變らず男たらしに從事し居り昨年の秋口入屋某の周旋にて京城中の新地高橋肆謹士出廷し同氏より一樂樓酌婦第一回公判開廷あり被告人は大韓寺の信徒四五十名の男女中には開進亭仲居藝妓松葉亭の藝妓其他料理屋の酌婦等も多かりし證人として召喚申請し川副刑事の報告と殿閉廷し昨十二日第二回公判開廷あり先ず傍聽人は大韓寺の信徒四五十名の報の建部喜三郎草野文次郎は不法監禁罪として有罪の宣告を受け判事并に檢事の同情に因り二ケ年執行猶豫の恩典を與へられしにも係らず彼は如何なる自信を有するか不明なるも右裁判を不服として控訴せり

韓國皇族に對して禮遇

天皇陛下の感泣

名馬

一頭を獻じ奉らんとの考へを

天皇陛下の感泣

名馬

一頭を獻じ奉らんとの考へを

投身の判明

▽第三期の梅毒と苦にして

本月三日仁川よりの木浦丸搭乘客廣島縣加茂郡東三和村高尾勉（三五）が木浦沖に於て投身せし原因に就ては其の多くは病苦を悲みてかくも敢へなき最後を遂げたる者なるべしと推測せるに果して之に遂ては寸其の兩親に宛てたる遺書を見るに先づ養育の高恩を謝し然して某なるや否や疑はしきも兩親に居たる清水龍山寺に厄介になり居りたる清水龍山寺に對しては殘念なりと自分今や先立つ不孝は此上なけれども自分は最早梅毒の第三期に入り到底治療の見込なしと云ひ立てに足抜きするやら前借踏倒しも元來自分から好んでする酌婦仲間なれば一筋縄で行く奴の多きは當然の事ながら此れは又蒸ても燒いても食はぬ海千山千の莫連女あり先頃岡縣企救郡足立村にて奥村辰造の二女さめ（廿）と云ふは性質での淫奔女として屬揚げの取れぬ内から男狂ひに憂身を窶し或る小料理店に酌婦として住み込みたるがあらぬ道に踏み迷ふ緒端なりけり好んで成つた稼業なれば少時の間に男の眞毛を算むに飽を得て實父の方へも多少の送金をなす程になりしより益に實父も慾が付き遂に小倉遊廓に娼妓として賣り飛ばしたるさらぬだに既に浮かれ男を手玉に取りし經驗もあれば間もなく此所にて某請負業者を丸め込み身請けされて共に朝鮮に押し渡り一時仁川に同棲せしが根が多情者のれさめと一人寄りは守つて居られず離れ彼れと浮名を唄はれしことも度々なるに石の男も愛想を盡かし水原の戚の料理店に賣飛ばされしも決して自分が惡いと思はず結局此の方が氣樂なと相變らず男たらしに從事し居り昨年の秋口入屋某の周旋にて京城中の新地高橋肆謹士出廷し同氏より一樂樓酌婦第一回公判開廷あり被告人は大韓寺の信徒四五十名の男女中には開進亭仲居藝妓松葉亭の藝妓其他料理屋の酌婦等も多かりし證人として召喚申請し川副刑事の報告と殿閉廷し昨十二日第二回公判開廷あり先ず傍聽人は大韓寺の信徒四五十名の報の建部喜三郎草野文次郎は不法監禁罪として有罪の宣告を受け判事并に檢事の同情に因り二ケ年執行猶豫の恩典を與へられしにも係らず彼は如何なる自信を有するか不明なるも右裁判を不服として控訴せり

禪宗坊主の公判

▽僞證罪にて酌婦の留置

大坂市南區難波西神田町八百七十七番地當時旭町二丁目川方下女田中とよ永登浦花盛人森本字三郎の三人を證人として召喚申請し川副刑事の報告と殿閉廷し昨十二日第二回公判開廷あり先ず傍聽人は大韓寺の信徒四五十名の男女中には開進亭仲居藝妓松葉亭の藝妓其他料理屋の酌婦等も多かりし證人森本字三郎の證言の大要は監獄内に於て知り合となりし清水某と大韓寺田中僧侶に紹介したる事實ある旨田中と田中側の主張たる森本字三郎の紹介に因り大韓寺に厄介になり居りたる清水龍山寺に對しては殘念なりと自分今や先立つ不孝は此上なけれども自分は最早梅毒の第三期に入り到底治療の見込なしと云ひ立てに足抜きするやら前借踏倒しも元來自分から好んでする酌婦仲間なれば一筋縄で行く奴の多きは當然の事ながら此れは又蒸ても燒いても食はぬ海千山千の莫連女あり先頃岡縣企救郡足立村にて奥村辰造の二女さめ（廿）と云ふは性質での淫奔女として屬揚げの取れぬ内から男狂ひに憂身を窶し或る小料理店に酌婦として住み込みたるがあらぬ道に踏み迷ふ緒端なりけり好んで成つた稼業なれば少時の間に男の眞毛を算むに飽を得て實父の方へも多少の送金をなす程になりしより益に實父も慾が付き遂に小倉遊廓に娼妓として賣り飛ばしたるさらぬだに既に浮かれ男を手玉に取りし經驗もあれば間もなく此所にて某請負業者を丸め込み身請けされて共に朝鮮に押し渡り一時仁川に同棲せしが根が多情者のれさめと一人寄りは守つて居られず離れ彼れと浮名を唄はれしことも度々なるに石の男も愛想を盡かし水原の戚の料理店に賣飛ばされしも決して自分が惡いと思はず結局此の方が氣樂なと相變らず男たらしに從事し居り昨年の秋口入屋某の周旋にて京城中の新地高橋肆謹士出廷し同氏より一樂樓酌婦第一回公判開廷あり被告人は大韓寺の信徒四五十名の男女中には開進亭仲居藝妓松葉亭の藝妓其他料理屋の酌婦等も多かりし證人森本字三郎の證言の大要は監獄内に於て知り合となりし清水某と大韓寺田中僧侶に紹介したる事實ある旨田中と田中側の主張たる森本字三郎の紹介に因り大韓寺に厄介になり居りたる清水龍山寺に對しては殘念なりと自分今や先立つ不孝は此上なけれども自分は最早梅毒の第三期に入り到底治療の見込なしと云ひ立てに足抜きするやら前借踏倒しも元來自分から好んでする酌婦仲間なれば一筋縄で行く奴の多きは當然の事ながら此れは又蒸ても燒いても食はぬ海千山千の莫連女あり先頃岡縣企救郡足立村にて奥村辰造の二女さめ（廿）と云ふは性質での淫奔女として屬揚げの取れぬ内から男狂ひに憂身を窶し或る小料理店に酌婦として住み込みたるがあらぬ道に踏み迷ふ緒端なりけり好んで成つた稼業なれば少時の間に男の眞毛を算むに飽を得て實父の方へも多少の送金をなす程になりしより益に實父も慾が付き遂に小倉遊廓に娼妓として賣り飛ばしたるさらぬだに既に浮かれ男を手玉に取りし經驗もあれば間もなく此所にて某請負業者を丸め込み身請けされて共に朝鮮に押し渡り一時仁川に同棲せしが根が多情者のれさめと一人寄りは守つて居られず離れ彼れと浮名を唄はれしことも度々なるに石の男も愛想を盡かし水原の戚の料理店に賣飛ばされしも決して自分が惡いと思はず結局此の方が氣樂なと相變らず男たらしに從事し居り昨年の秋口入屋某の周旋にて京城中の新地高橋肆謹士出廷し同氏より一樂樓酌婦第一回公判開廷あり被告人は大韓寺の信徒四五十名の男女中には開進亭仲居藝妓松葉亭の藝妓其他料理屋の酌婦等も多かりし證人森本字三郎の證言の大要は監獄内に於て知り合となりし清水某と大韓寺田中僧侶に紹介したる事實ある旨田中と田中側の主張たる森本字三郎の紹介に因り大韓寺に厄介になり居りたる清水龍山寺に對しては殘念なりと自分今や先立つ不孝は此上なけれども自分は最早梅毒の第三期に入り到底治療の見込なしと云ひ立てに足抜きするやら前借踏倒しも元來自分から好んでする酌婦仲間なれば一筋縄で行く奴の多きは當然の事ながら此れは又蒸ても燒いても食はぬ海千山千の莫連女あり先頃岡縣企救郡足立村にて奥村辰造の二女さめ（廿）と云ふは性質での淫奔女として屬揚げの取れぬ内から男狂ひに憂身を窶し或る小料理店に酌婦として住み込みたるがあらぬ道に踏み迷ふ緒端なりけり好んで成つた稼業なれば少時の間に男の眞毛を算むに飽を得て實父の方へ

送金電報に注意

釜山南濱町二丁目下宿屋伊藤屋方に自稱東京市日本橋區堀留町一丁目一木彌三郎（廿五圓）を入質費消したるより告訴され南部署に引致取調の上一件記錄は檢事局に送らる

他の衣類を食ふ

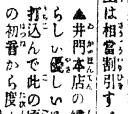
京都府生れ當時永樂町三丁目三十番戸雜貨商森元大郎（廿九）は本年七八九の三ケ月に渉り永樂町一丁目料理店光昇樓より衣類の仕立を内縁の妻上崎あいに依頼されし奇貨とし御召袷外十三點（代三百四十五圓）を入質費消したるより告訴され南部署に引致取調の上一件記錄は檢事局に送らる

仁川の流行病者

仁川に於ける本年一月以來の流行病は僅かに赤痢患者九名擬似コレラ二名なるが中擬似コレラ患者二名は死亡赤痢患者九名の中四名は死亡し四名は全治退院したれば目下入院中の者は一名のみなりと云

●敷島の燻客數　一昨夜の登樓客は四十一名にして消費高が百廿二圓十錢

●併合紀念盃發賣　當地陶器商中屈指の大商店たる本町二丁目の陶榮商店にては韓國併合を紀念とする爲め意匠を凝らし其製作方を京都粟田口窯元に托したるが此の程に至り出來上り着荷したれば急々十三日を以て之れを賣出せるが內側上部に櫻樹に旭日旗を出し下部に雌雄の鷄の之れを仰ぐる模をあしらい中央に韓國併合紀念と金字にて出したる優美なるものなり一個金三十錢十個以上は相當割引すべし



▲井門本店の蝶々の女らしい優しいところに打込んで此の頃南山町の初音から度々花をかけるハイカラ樣が御座んすが清華亭の れ多福姐さんが聞いたら嘸怒られる事なるべしと心配いたし居候▲同じ家の雛蝶はた客と長っ尻にて妙を得て居るとの事に候ツイ過さすに妙を得て居るとの事に候ツイ過

●上女中至急入用御來談ありたし

若い女へ好い殷鑑

▽引誘婦人廣島縣人奥村辰造（廿）は昨十一日懲役一箇月に處せられ小川判事より申請通り執行猶豫三箇年の恩典を與へられたり閉廷後秋場檢事は被告に對し執行猶豫の恩典を受けたる者の注意に付懲戒に說諭されしが被告しが檢事に告白したる大要を總く自分は實世間及樓父のあり て親は相當の資產を有する不心得の爲め公州に於て有夫の某官吏と關係して懷妊し兩親の傍には勿論附近に面目なく不得已來京したるに掬摸の被害を受け困難の餘り惡事を爲したるものなりと若い婦人達は之れに鑑み玉ふべし

若い女へ好い殷鑑

禪宗坊主の公判

送金電報に注意

他の衣類を食ふ

仁川の流行病者

●軍人の北漢山登　龍山の狐司令部重立者魚企となり來れ六、十七、十八の兩休日を俟て十六日北漢山の紅葉狩りを兼ね遠足大運動會を催すべき筈にて昨今贊成を求めつゝあるが總數將校百二十餘名なれば全体の贊成は勿論龍東なきも頗る氣樂し居る事として百名位は大丈夫ならんと云へば隨分盛大なるべし尙は當日は早天獨立門附近に集合し北漢山の紅雲を踏破して黃昏方歸來の豫定なりと因に記す北漢山の紅葉は昨今尤も見頃にして彌山榮として雲錦の如くなれば愛一週間登山の墨人騷客も定めて多からんと

●敷島の燻客數　一昨夜の登樓客は四十一名にして消費高が百廿二圓十錢

●併合紀念盃發賣　當地陶器商中屈指の大商店たる本町二丁目の陶榮商店にては韓國併合を紀念とする爲め意匠を凝らし其製作方を京都粟田口窯元に托したるが此の程に至り出來上り着荷したれば急々十三日を以て之れを賣出せるが內側上部に櫻樹に旭日旗を出し下部に雌雄の鷄の之れを仰ぐる模をあしらい中央に韓國併合紀念と金字にて出したる優美なるものなり一個金三十錢十個以上は相當割引すべし

●軍人の北漢山登　龍山の狐司令部重立者魚企となり來れ六、十七、十八の兩休日を俟て十六日北漢山の紅葉狩りを兼ね遠足大運動會を催すべき筈にて昨今贊成を求めつゝあるが總數將校百二十餘名なれば全体の贊成は勿論龍東なきも頗る氣樂し居る事として百名位は大丈夫ならんと云へば隨分盛大なるべし尙は當日は早天獨立門附近に集合し北漢山の紅雲を踏破して黃昏方歸來の豫定なりと因に記す北漢山の紅葉は昨今尤も見頃にして彌山榮として雲錦の如くなれば愛一週間登山の墨人騷客も定めて多からんと

●若い女へ好い殷鑑　既報の通り引誘婦人廣島縣人奥村辰造（廿）は昨十一日懲役一箇月に處せられ小川判事より申請通り執行猶豫三箇年の恩典を與へられたり閉廷後秋場檢事は被告に對し執行猶豫の恩典を受けたる者の注意に付懲戒に說諭されしが被告しが檢事に告白したる大要を總く自分は實世間及樓父のあり て親は相當の資產を有する不心得の爲め公州に於て有夫の某官吏と關係して懷妊し兩親の傍には勿論附近に面目なく不得已來京したるに掬摸の被害を受け困難の餘り惡事を爲したるものなりと若い婦人達は之れに鑑み玉ふべし

●軍人の北漢山登　龍山の狐司令部重立者魚企となり來れ六、十七、十八の兩休日を俟て十六日北漢山の紅葉狩りを兼ね遠足大運動會を催すべき筈にて昨今贊成を求めつゝあるが總數將校百二十餘名なれば全体の贊成は勿論龍東なきも頗る氣樂し居る事として百名位は大丈夫ならんと云へば隨分盛大なるべし尙は當日は早天獨立門附近に集合し北漢山の紅雲を踏破して黃昏方歸來の豫定なりと因に記す北漢山の紅葉は昨今尤も見頃にして彌山榮として雲錦の如くなれば愛一週間登山の墨人騷客も定めて多からんと

●若い女へ好い殷鑑　既報の通り引誘婦人廣島縣人奥村辰造（廿）は昨十一日懲役一箇月に處せられ小川判事より申請通り執行猶豫三箇年の恩典を與へられたり閉廷後秋場檢事は被告に對し執行猶豫の恩典を受けたる者の注意に付懲戒に說諭されしが被告しが檢事に告白したる大要を總く自分は實世間及樓父のあり て親は相當の資產を有する不心得の爲め公州に於て有夫の某官吏と關係して懷妊し兩親の傍には勿論附近に面目なく不得已來京したるに掬摸の被害を受け困難の餘り惡事を爲したるものなりと若い婦人達は之れに鑑み玉ふべし

●上女中至急入用御來談ありたし

●京城にも神奈川縣人は餘りなからずと存じ候に一回縣人會を開催致されす候如何の都合に候や萬一今後御催し候はゝ私ども新町藝妓ばかりゝつて出席致すべくと申居候妓も御座候實際新町藝妓の百五十四人中の八十三人迄は神奈川種にて候御奮發なさるべく候▲京城樓の月子が申し候に妾は決して新聞記者が嫌ひと申したではなく三面記事が嫌ひと申したまでに候と恐縮をこぼし居り候▲新町にてのれ鑒さんは玉家の可憐の三十歳に有之候若いのは高島屋の小富初音の十八歳に候（花柳奎）

英會話の上手な實業に熱心な主家に忠實な人を屋たし　本町　近藤骨董舗

○大阪人會○
秋季會を兼ね慰安會開催候間好の士奮て御出席相成度候也
日時　十月十五日午後三時より
一場所　南山町二丁目松葉亭
一會費　但し十四日中迄に御申込の事
大阪人會幹事
本町四丁目　申込
南大門通三井　櫻岡商店　藥品雜貨販賣
時計商　藥舗
木島平兵衛　池田長兵衛
新井虎太郎　石井

蒸氣消毒　牛乳
京城青葉町五番戸の一
廣發合　細川牧場
（電話一三六六番）

弓打綿　製造販賣
並に古綿も弓にて打直し致します
其他綿類一切特別大安賣
京城本町七丁目（郵便ポスト前）
深堀製綿所
取次電話千五百二十番

佐賀セメント
右今回販賣致し候に付多少に拘わらず御用命被仰付度奉願候
佐賀セメント株式會社
京城代理店
南山町一丁目
電話三四四番
山村商店

古家屋、賣買、新古材木並トタン板、雨戸、障子類一式
其他建築材料一切
古着、古道具、諸雜貨
京城本町七丁目京城座前
五十嵐材料店
電話一千四百二十四番

●天氣豫報（自十二日午後六時至十三日午後六時）
北風晴後曇
最高溫度　六六、四
最低溫度　三五、二
（華氏）

今日の運勢
十月十三日　黃、九月十日　四綠赤口辛亥除△一白（礦山金屬の業務に吉紛爭△藤の蠟醸成易し△二黑賣買取引貸借逢錯多し新事婚談旅行見合せの事△三碧事見合せの事示談決算清算の事間違易し△六白　新事旅行轉住に忌む書信特異を報ずるあらん△四綠　新事婚談共同組合運轉の事に忌む△五黃　盜害色情の害を戒しむ新事婚談共同組合連盟の事に忌む商訂△九紫　利益ある日なり又起業開店披露婚談協議に吉（本町五丁目三一館判斷）

移轉御披露
金澤旅館
電話一八一番

寫眞器械
寫眞撮影の時季
幻燈器械
寫眞燈一切
藥品材料
旅行用娯樂用營業用
直輸入
京城本町四丁目
寫眞器械
寫眞機部
電話二六二
振替貯金二三一

來れり
資本金五百萬圓積立金百七十三萬圓
京城事務所　南大門通三丁目電話六九四番
横濱火災海上運送株式會社
信用保險
京城南山町四丁目（花月上隣）
金澤旅館
電話一八一番

三越今後の理想は
デパートメントストアの特色を發揮して精選せる各種の商品を益々低廉に販賣致し極力顧客の御便利を圖るにあり
京城本町二丁目
三越吳服店
電話　賣場用　三五二　事務用　一五六九

三越三則
三越の大賣出
十月十五日より二十日迄六日間の事
三越の新着荷
新柄中の新柄は三越獨特の吳服類に限り申候事
三越の大擴張
假營業所增築落成と共に益々大擴張可致候事
（ミツコン）

来る十月十五日より二十日まで
秋季賣出
切奇
切物反
見
增築落成
三越
デパートメントストア

朝鮮名產

鶴の骨細工種々
鶴の羽細工種々
朝鮮土產品種々

京城本町三丁目 電話二五〇
振替朝鮮四八
製造發賣元 海市商會
京城本町四丁目(電話九五六)
特約發賣元 日之出商行
京城本町六丁目(電話二一〇)
特約發賣元 西崎本店

御用心なさいませ。だまされます

アイボリー石鹼の購買法
一包裝……表面に斜に日本文字で「アイボリー石鹼」と入れてありますから小供にも見わけがつきます
一商標……三日月に星の繪がかいてあります
一石鹼の色……白色ですけれども象牙色です、豆腐の樣に白いのは眞正の「アイボリー石鹼」でありませぬ
一形……二ッつなぎですから、切つて使用になれば便利です
一無味無臭……少しも「アルカリ」性分を含まないからいやな味も臭もありません
一浮石鹼……の元祖です、夫れに泡立つことは他の石鹼より多くて洗ひ氣持がさっぱりします
一販賣店……化粧品店、藥店、雜貨店、どこにも賣つています
アイボリー石鹼の鑑別法

新着荷

ミュンヘンビール
●アルコール分少く滋養分に富み御婦人又は下戸の御方にも飲み易きは此ビールの特色なり
●飲料界未曾有の大好評を博せるもの實に偶然にあらざるなり

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番
特等 一等 二等 三等
日本室和食
(壹圓五十錢) (壹圓錢) (二圓五十錢) (二圓錢) (壹圓五十錢) (壹圓錢) (壹圓五十錢)

本町一丁目元藤隈旅館は當方所有の家屋にして同旅館に賃貸致し居候處今回主人歸國に就き全然當方に引取り本田旅館と改稱し一部を改築し室内の裝飾を新たにし專ら衛生を旨とし諸般の設備を改善仕り且つ親切丁寧を生命とし營業可仕候御案内の如く當旅館の位置は京城府尹警察署郵便局民團役所及新築韓國銀行等に接近し停車場への道路も近く左は本町大通り右は電車の通路を控へ交通の流通も至つて宜敷く蒸し旅館として閑然する處無之窃かに自負致し居候何卒四方の御客樣以前に倍し御引立の程奉願候

京城本町一丁目元理事廳前(藤隈旅館跡)
本田旅館
電話一〇六番

毛織物直輸入
並に洋服調進
京城本町一丁目
商本田羅紗店
電話百〇六番
電略(ホン)又は(ホ)

朝鮮總督府專賣局開城蔘政課御製造
糖蔘(人蔘砂糖漬)
發賣廣告
高麗蔘の靈劑たるは既に確認せらる所今般蔘政局にて精製せられたる糖蔘は是れを砂糖漬としたるものにて永遠腐敗變味等の恐もなく老幼一般の咀嚼に適する珍重なる滋養劑に有之殊に容包裝共に優美高尚にて御土產御見舞品には敗間も適當のものに御座候今回弊店許可を受け弘く發賣仕候菓幸に御賜顧御用命の程奉願上候
朝鮮京城本町三丁目
發賣元 合名會社 明治屋京城支店
各地賣藥店並に雜貨店に有り最寄にて御求を乞ふ
電話 貳壹貳番 壹七貳貳番

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十三番)

總督府御制服調進
弊店は鮮土に於ける洋服業の開祖として將又卒先者として斯道の奬勵に努め汲々營々爰に十七年の星霜を閲するに至り弊店の調製服に對して世既に定評あり就中御制服は弊店の最も得意とする所諸官衙を始め殊に韓皇陛下時代より今日の李王殿下御一族の御用は依然として特定せられ居り弊店の光榮と致す所に御座候豫て英國に注文致置候制服地等今回多數到着仕候に付誠意熟心に御調製可仕候に付何卒御用命の程奉希上候
敬白
京城光化門通
諸官衙御用
淺田洋服店
大島專藏
電話長四一二
平壤大和町
淺田洋服店出張所
電話長四一三

義齒術一般
榊忠司
京城永樂町二丁目(赤門前)
取次電話一五八三

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒純良等
高牛乳
龍山本町三丁目
龍山販賣所
(電話一〇二番)
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
京城南大門外
荒井牧場
(電話一〇五六番)
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

仁川京町一丁目六番地(區裁判所横)
後藤法律事務所
電話五〇六

醫學士木村先生方劑
健胃整腸散
定價十錢 廿錢
○腹痛、下痢、腸加答兒、赤痢(下り腹一切)の最良藥
發賣本舗 京城明治町三丁目(電話四二七) 小川藥店
▲本品は市内各藥店にあり最寄にて御買求を乞ふ▼

醇良清酒

京城明治町
大塚京城支店
(電話四百一番)

英國製
輸入新荷着
ライト號 附屬品付 確價七十圓
●車體堅牢にして優美紳士用實用に適す
歐米各國直輸入商 京城本町二丁目 織居商店自轉車部
自轉車
電話四百八十番

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋香煙
防腐デシン
穀物食鹽
醬油料類
諸官衙御用達
藤田合名會社
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京平代田生命保險株式會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
東京國民新聞社發行書籍特約店
本社 東京市麻布區十番 電話明治二〇三番
出張所 東京市麻布區十番 電話麻布二〇三番
東京市麻布區十番 電話麻布二〇三番
東京市麻布區十番 電話麻布二〇三番